

■平成 25 年度事業報告書■

一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟

I 事業期間

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

II 事業報告の概要

1. 概況と総括

- (1) 平成 22 年 4 月の法人設立から 4 期目となる年度を終了。
- (2) プレーヤーの育成および強化をはかる活動に積極的に取り組んだ。特に本年度は第 7 回キンボールスポーツワールドカップ 2013 男女日本代表チームが成果を上げるためのバックアップを行った。
- (3) 新中長期目標達成に向け、詳細な計画を立案、遂行できるように新組織の形態について熟慮を重ねて検討した。

■新中長期目標 6 項目■

■学校体育（正課）カリキュラムへの導入

関係省庁、市町村教育委員会等にはたらきかけキンボールスポーツが学校体育の教材として正式導入されることをめざします。

- キンボールスポーツ学校体育導入プロジェクトを平成 16 年（2005 年）より実施。

■国体ならびに全国規模のスポーツイベントへの積極的参加

国民体育大会デモンストレーション種目として継続参加をめざします。開催地となる都道府県支部連盟の強化と日本連盟の支援を徹底します。

- 国体（国民体育大会）デモンストレーション行事

平成 25 年（2013 年）：東京都中央区、豊島区、荒川区

平成 27 年（2015 年）：和歌山県田辺市

■全国 47 都道府県支部設立及び日本体育協会への加盟

全国 47 都道府県すべてに支部を設立することをめざします。未だ支部設立されていない県を中心に連盟主催講習会を行い、普及をすすめます。また、関係者にはたらきかけ支部設立に取り組んでいます（現在 36 都道府県に都道府県団体設立）。支部の都道府県体育協会加盟も推進し、日本体育協会加盟団体をめざします。

■アジアキンボールスポーツ連盟の設立とアジア各国との国際交流推進

2011 年の兵庫県宝塚市におけるパン・パシフィックカップ開催を契機にアジア諸国にはたらきかけ、アジア連盟の設立をめざします。またアジア選手権などキンボールスポーツを通じた国際交流を促進します。

■多世代や障がいをもつ人々の参加機会の拡充、交流大会の創設

キンボールスポーツがすべての人々に開かれたスポーツであることをめざします。ルールバリエーションの採用、新たな普及プログラムの開発や関係団体との連携により、誰もが参加しやすい環境づくりに取り組んでいきます。

■組織基盤・財政基盤の早期確立による事業の充実

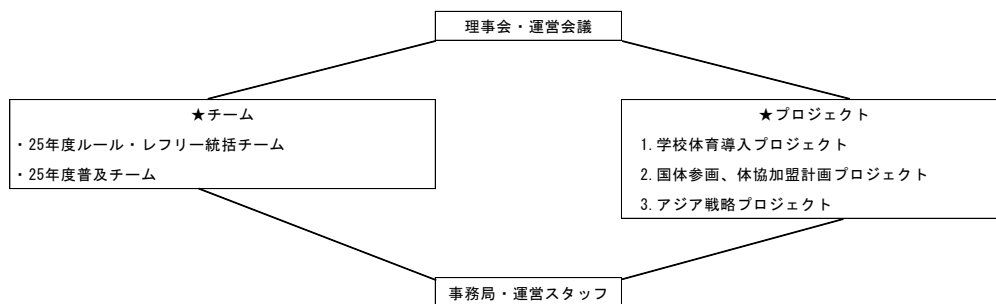
平成 22 年度（2010 年）より日本キンボールスポーツ連盟は一般社団法人に生まれ変わりました。今後より一層の事業の充実のため、制度・組織の見直しを図り基盤整備の充実をめざします。

(4) 助成事業を積極的に活用した。平成 25 年度スポーツ振興くじ (toto) 助成事業として、次の 6 事業を実施。

- ・第 14 回キンボールスポーツジャパンオープン・チャンピオンズカップ
- ・第 14 回キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ
- ・キンボールスポーツ指導者講習会 2013 (全国延べ 15 か所)
- ・「世界を学ぶ」キンボールスポーツ講習会 2013
- ・キンボールスポーツ紹介DVD制作事業
- ・キンボールスポーツ広報誌の発行、提供事業

2. 組織運営

- (1) 本年度も総会、理事会で決定した事項の実施についての詳細は運営会議で検討することとした。
- (2) 主な事業、懸案事項ごとにチーム、プロジェクトを設け業務、任務にあたった。業務、任務遂行を第一義とし、メンバーは役員、会員のみに関わらず必要に応じ追加増員、脱退ができるなど柔軟性を持たせるものとした。すべて理事会および運営会議で管轄し、理事長が全体を総括し、実務リーダーの副理事長、理事が運営、指揮指導の上進めた。
- (3) 事務局のサポートとして運営スタッフを任命し、全体の業務、任務遂行に携わった。



Ⅲ 事業別報告

1. 指導者養成事業

★平成 25 年度データはすべて平成 26 年 3 月 31 日現在のもの

(1) 登録者 (ファン※1)

※1…ファン：旧サブリーダー（無料登録）、旧サポーター、サポーターを含む任意団体時代からのすべての登録者。

- ・平成 25 年度 新規数 489 名 (平成 24 年度：657 名)
- ・平成 25 年度 総数 計 19,447 名 (平成 24 年度：計 18,958 名)

(2) 普通会员 (サポーター)

- ・平成 25 年度 新規数 285 名 (平成 24 年度：449 名)
- ・平成 25 年度 総数 計 1,407 名 (平成 24 年度：計 1,600 名)

■指導者

(1) リーダー

- ・平成 25 年度 新規数 218 名 (平成 24 年度：342 名)
- ・平成 25 年度 総数 計 532 名 (平成 24 年度：計 674 名)

(2) マスター

- ・平成 25 年度 新規数 25 名 (平成 24 年度：63 名)
- ・平成 25 年度 総数 計 596 名 (平成 24 年度：計 644 名)

(3) グランドマスター

- ・平成 25 年度 新規数 2 名 (平成 24 年度：10 名)
- ・平成 25 年度 総数 計 14 名 (平成 24 年度：計 13 名)

■レフリー

(1) C 級レフリー

- ・平成 25 年度 新規数 71 名 (平成 24 年度：92 名)
- ・平成 25 年度 総数 計 626 名 (平成 24 年度：計 651 名)

(2) B 級レフリー

- ・平成 25 年度 新規数 20 名 (平成 24 年度：5 名)
- ・平成 25 年度 総数 計 53 名 (平成 24 年度：計 34 名)

(3) エグゼクティブ B 級レフリー※2

※2…エグゼクティブ B 級レフリー：定年等の都合で B 級レフリーを引退した者の資格。

- ・平成 25 年度 新規数 0 名 (平成 24 年度：0 名)
- ・平成 25 年度 総数 計 4 名 (平成 24 年度：計 4 名)

(4) A 級レフリー (兼国際レフリー資格レベルⅢ)

- ・平成 25 年度 新規数 0 名 (平成 24 年度：0 名)
- ・平成 25 年度 総数 計 3 名 (平成 24 年度：計 3 名)

■支部 (正会員)

- ・平成 25 年度新規認定支部 1 支部、2 準支部加盟 (平成 24 年度：新規認定支部なし)

※平成 25 年度末現在 36 都道府県団体 (34 支部、2 準支部)

2. 主催事業 計 26 事業

(1) 大会主催 2 事業

①全国大会

- 【事業名】第14回キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ
【期間】11月23日(土祝)、24日(日)
【場所】富山県富山市 富山市総合体育館
【参加】112チーム(うち2チーム棄権)、555名参加
【備考】平成25年度スポーツ振興くじ助成事業

②全国大会

- 【事業名】第14回キンボールスポーツジャパンオープン・チャンピオンズカップ
兼 キンボールスポーツワールドカップ2013日本代表選考会
【期 日】6月22日(日)
【場 所】東京都中央区 中央区立総合スポーツセンター
【参 加】48チーム、224名参加
【備 考】平成25年度スポーツ振興くじ助成事業、
スポーツ祭東京2013デモンストレーションとしてのスポーツ行事
キンボール チャンピオンの部 リハーサル大会 兼ねる

(2) 講習会主催 24 事業

①指導者講習会

- 【事業名】キンボールスポーツ指導者講習会2013
【事業回数】全15回
【場所および期日】・北海道8月11日 ・宮城10月6日 ・東京①4月29日 ・東京②6月30日
・静岡8月19日 ・愛知7月21日 ・京都7月7日 ・大阪2月15日
・和歌山10月20日 ・鳥取5月18日 ・香川①8月25日 ・香川②11月10日
・大分2月8日 ・熊本2月9日 ・沖縄10月19日
【講習内容】レベル別指導者講習会、レベル別レフリー講習会
【参 加】全15回計328名
【備 考】平成25年度スポーツ振興くじ助成事業

②グランドマスター講習会

- 【事業名】グランドマスター講習会および認定試験
【事業回数】1回
【場所および期日】・宮城10月6日
【参 加】2名

③A級レフリー認定試験

- 【事業名】「世界を学ぶ」キンボールスポーツ講習会2013(後半)
【事業回数】1回
【場所および期日】・東京7月14、15日
【参 加】8名
【備 考】平成25年度スポーツ振興くじ助成事業、国際連盟より講師2名招へい

④B級レフリー認定試験

- 【事業名】B級レフリー認定試験
【事業回数】全4回
【場所および期日】・北海道8月11日 ・東京6月30日 ・愛知7月21日 ・香川8月25日
【参 加】全4回計24名

⑤B級レフリー認定試験事前講習会

【事業名】「B級レフリー認定試験」のための講習会

【事業回数】全4回

【場所および期日】・北海道8月10日・東京6月29日・愛知7月20日・香川8月24日

【参加】全4回計23名

⑥C級レフリー講習会担当講師研修会

【事業名】C級レフリー講習会および認定試験担当講師研修会

【事業回数】全4回

【場所および期日】・北海道8月11日・東京4月29日・兵庫10月23日・沖縄10月19日

【参加】全4回計10名

⑦技術・戦術講習会

【事業名】「世界を学ぶ」キンボールスポーツ講習会2013（前半）

【事業回数】全2回

【場所および期日】・東京7月12、13日

【参加】全2回計40名

【備考】平成25年度スポーツ振興くじ助成事業、国際連盟より講師2名招へい

3. 指導者派遣事業 計2事業

【事業内容】キンボールスポーツ体験の機会提供、指導者、レフリー養成

【事業実績】25年度指導者派遣 計2事業

4. 普及推進事業

(1) 支部助成

【事業内容】

①各都道府県連盟に対して、当該各都道府県在住を中心とした普通会員所属者数に応じて会費還元金として各都道府県連盟に活動資金として支払う。

②支部（正会員である都道府県連盟）が用具購入、大会・講習会開催、その他普及・支部運営活動に関して資金面で補助が必要な場合、理事会に書面を持って申し出る。「支部助成金交付要綱」に基づき理事会または運営会議で審議後、必要に応じて補助・応援体制をとる。

【事業実績】

①内規である年度報告を終えた15都道府県連盟に会費還元金の支払を完了。

②事業助成に関して、平成25年度は次の1支部1件の助成を実施。

・愛知県キンボールスポーツ連盟「備品（アウトサイドボール）購入」

(2) 広報

【事業内容】キンボールスポーツのPR活動

【事業実績】

①広報誌（会報）の制作・発送（1回） 3月実施。

②ホームページの管理、運営。

事業案内、事業レポート等の掲載。通年実施、年間86日更新。

③フェイスブックページの管理、運営。

地域担当者による情報発信、全国各地の新聞・テレビ等取材情報などを掲載。通年実施、年間88記事掲載。

(3) キンボールスポーツパートナーシップ

【事業内容】

- ① パートナー団体や企業の団体名、ロゴマーク、キャッチコピー等が入ったキンボールを講師派遣講習会や大会において優先使用し、パートナー団体や企業が当連盟の諸活動へ協力、協賛していることを参加者や観戦者等にアピールする。
- ② 横断幕やポスター掲示、資料の配布などの希望支援スタイルの提供により、協力団体をアピールする。

【事業実績】

- ① 梅花女子大学（大阪府茨木市）と継続契約。
- ② 有限会社両国あんこあられ本舗両国國技堂（東京都墨田区）と継続契約。

(4) グッズ企画

【事業内容】 キンボールスポーツに関する備品の商品化を企画

【事業実績】

25 年度実績はルールブック、レフリーマニュアル、ウィンドブレーカー、ボタンダウンシャツ、日本代表レプリカユニフォームの企画。

(5) 諸会議

【事業内容】 当連盟運営および活動に関する事項についての審議、検討

【事業実績】

- ① 定時社員総会 1 回（6 月 16 日）
- ② 理事会 2 回（5 月 11 日、3 月 30 日）
- ③ 運営会議 6 回（5 月 11 日、7 月 27 日、9 月 7 日、11 月 30 日、1 月 25 日、3 月 30 日）
- ④ 運営スタッフ会議 9 回（4 月 5 日、5 月 24 日、6 月 28 日、7 月 19 日、8 月 31 日、9 月 27 日、11 月 15 日、1 月 17 日、3 月 7 日）
- ⑤ ルール・レフリー統括チーム研修会 2 回（11 月 24 日、2 月 16 日）

(6) 主催事業および役員・指導担当者他の保険加入

【事業内容】 主催事業および指導担当者他の保険加入

【事業実績】

- ① 年間契約（対象：主催事業／更新：9 月）の傷害保険に加入。
- ② 会長、副会長、理事長、副理事長、理事、ルール・レフリー統括チームメンバー、運営スタッフ、事務局のスポーツ安全保険（傷害、賠償責任）19 名 加入。

(7) キンボールスポーツ普及協力

【事業内容】 キンボールスポーツの用具、備品の貸与

【事業実績】 25 年度実績 有料貸与 39 件 無料貸与 10 件 貸与合計 49 件

4.25 年度特別事業

(1) ワールドカップ日本代表チーム強化および選手団派遣事業

【内 容】 ワールドカップ男女日本代表チーム強化および1チームずつの選手団派遣に伴う業務

【場 所】 日本国内および大会開催地

【備 考】 派遣場所：ベルギー・リエージュ州

派遣期間：10月27日(日)～11月5日(火)

大会名称：第7回キンボールスポーツワールドカップ 2013

大会期間：10月29日(火)～11月3日(日)

大会主催：国際キンボールスポーツ連盟

大会結果：

最終順位	男子の部	女子の部
優勝	カナダ	カナダ
準優勝	日本	日本
3位	ベルギー	ベルギー
4位	フランス	フランス
5位	スイス	スイス
6位	韓国	スペイン
7位	スペイン	中国
8位	チェコ	デンマーク
9位	中国	—
10位	ドイツ	—
11位	デンマーク	—

(2) INDIE SPORTS FREAKS プロジェクト

【内 容】

キンボールスポーツをはじめ、チアリーディング、スカッシュといったメジャーでないが、いつか世界に驚きを与える可能性のある種目の日本代表を応援するプロジェクト。公式スポンサーとしてマルハニチロ株式会社の支援のもと立ち上がり、専用のフェイスブックページでの種目PR等の広報を行う。

【備 考】

投稿内容に対して、閲覧者からの「いいね！」数をスポンサー契約金以外のボーナスとしても3団体で競う。

(3) PR映像物の制作事業

【内 容】 競技紹介DVD制作

【備 考】 平成25年度スポーツ振興くじ助成事業

(4) レフリーマニュアルの制作事業

【内 容】 キンボールスポーツでの審判法の解説マニュアルを制作、発行

【備 考】 改訂第2版発行

(5) 国体協力事業

【事業名】 スポーツ祭東京2013 デモンストレーションとしてのスポーツ行事キンボール大会

【場 所】 東京都荒川区、中央区、豊島区

【期 日】 9月15日、9月29日、10月6日